

【決算ハイライト】

- ① 2023年度上期連結決算（カッコ内は2022年度上期比）
- ・売上高=30,799百万円(+13.5%)、経常利益=4,067百万円(+45.0%)
→上期過去最高の売上高・利益を更新。
- ② 2023年度連結業績見通し（カッコ内は2022年度比）
- ・売上高=61,300百万円(+8.5%)、経常利益=7,000百万円(+11.4%)
→前回見通しを上方修正(売上+4,300百万円、経常利益+900百万円)。
いずれも過去最高を更新の見通し。
- ③ 配当
- ・配当方針に沿った普通配当+記念配当として118円/株に増配。
- | ＜内訳＞ | 中間 | 期末 | 通期 |
|------|------------------|-------|--------|
| 前回予想 | 50円(普通40円+記念10円) | + 52円 | = 102円 |
| 今回予想 | 64円(普通54円+記念10円) | + 54円 | = 118円 |

トピックス

- ・生産管理ソリューション「MESTEN®（メステン）」の販売開始
→MESTEN®は金属・特殊鋼などプロセス製造業の生産・操業管理に特化したソリューションで、中堅以上の企業の既存システムの老朽更新需要を捕捉するとともに、当社の原価管理ソリューション「J-CCORES®（ジェー・シー・コアーズ）」との相乗効果を期待。
- ・日本マイクロソフト株式会社から、「Dynamics 365 Finance アワード」を受賞
→当社が開発した「SIDEROS®（シデロス）FI TEMPLATE for Microsoft Dynamics 365」を活用した導入実績を評価され、同賞を受賞。日本マイクロソフト株式会社との連携強化とともに、競合他社製品に対する優位性を最大限に活用していく。
- ・設立40周年関連施策
→社員投票による40周年ロゴの制定・社内イベントの開催等で、全社員の意識向上を進めるとともに、当社の企業理念を前面に押し出した新聞広告等、各種媒体によるPRにより、知名度アップ・人材確保に繋げていく。

【質疑応答要旨】

Q1：上期実績の好調さと比較すると、下期の見通しが弱気に見えるが、保守的な予想になる要因・リスクがあるのか？

A1：上期比で下期が減益という形にはなるが、電子帳簿保存法対応のライセンス販売が上期に集中したことや下期の施策費などによるもので、事業環境の悪化やコストの増加等の要因は考えておらず、事業は好調。実態としては、上期と下期は均等の利益水準と考えている。

Q2：トピックスにある生産管理ソリューション MESTEN®は製鉄システムのノウハウ等を活用したものなのか？

また、製造業全般で IT 投資が活況に見えるが、御社の業績に好影響はあるのか？

A2：MESTEN®は足元の製鉄所システムリフレッシュとは直接の関係は無いものの、当社がこれまで担ってきた製造業のお客様のシステム開発で蓄積した知見をもとに作り込んだ商品である。

また、IT 業界は全般的に好況であり、当社としてもこの追い風を活かすために、いかに人的資源を配分していくか、が重要な経営判断と考えており、この良好な事業環境を当社の下期・来年度の業績に繋げていけるよう取り組んでいきたい。

以上